

予 算 要 求 資 料

令和3年度9月補正予算 支出科目 款：総務費 項：企画開発費 目：情報化推進費

事業名 **新**岐阜情報スーパーハイウェイ通信集中対策費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

総務部 情報システム課 地域情報化係 電話番号：058-272-1111 (内 2278)

E-mail：c11120@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 補正要求額 6,387千円 (現計予算額：0千円)

<財源内訳>

| 区 分 | 事業費 | 財 源 内 訳 | | | | | | | |
|------------|-------|------------|------------|------------|----------|-----|-----|----|----------|
| | | 国 庫 支出金 | 分担金 負担金 | 使用料 手数料 | 財産 収入 | 寄附金 | その他 | 県債 | 一般 財源 |
| 現 計 予算額 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 補 正 要求額 | 6,387 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 6,387 |
| 決定額 | 6,387 | 6,387 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |

2 要求内容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

岐阜情報スーパーハイウェイは県や県内市町村のみならず、各種教育機関やケーブルテレビを始めとする民間企業まで幅広く利用されている。コロナ禍におけるリモートワークの拡大や、教育機関におけるタブレットを活用した学習の推進等により、幹線ループの一部において通信容量の上限に達する時間帯が発生するなど、利用に支障が生じている状況である。

岐阜情報スーパーハイウェイは令和5年度から幹線ループの通信容量を大幅に増強する更新を計画しているが、それまでの措置として混雑している区間の通信を逃がす(ブレイクアウト)対策を行う。

(2) 事業内容

- ・帯域利用の2Gループの通信集中を緩和するため、空いている光ファイ

バー芯線を利用して通信をブレイクアウトするための機器類（光信号を変換するメディアコンバーター等）を購入する。

①高山アクセスポイント（以下「A P」という。）～防災交流センターを接続するためのメディアコンバータ（以下「M/C」という。）

②恵那A P～防災交流センターを接続するためのM/C

③美濃加茂A P～防災交流センターを接続するための増速対応スイッチ
・設置作業や運用については、既存の岐阜情報スーパーハイウェイの運用保守契約の範囲内で対応を行う。

（3）県負担・補助率の考え方

県 10/10

（4）類似事業の有無

無

3 事業費の積算内訳

（単位：千円）

| 事業内容 | 金額 | 事業内容の詳細 |
|-------|-------|-------------------------------|
| 備品購入費 | 6,281 | ① 高山A P～防災交流センターのM/C 2,592 |
| | | ② 恵那A P～防災交流センターのM/C 972 |
| | | ③ 美濃加茂A P～防災交流センターのスイッチ 2,717 |
| 消耗品費 | 106 | 配線材料等 |
| 合計 | 6,387 | |

決定額の考え方

財源については、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を充当します。

4 参考事項

（1）各種計画での位置づけ

無

（2）国・他県の状況

無

（3）後年度の財政負担

運用については既存の運用保守契約で対応

（4）事業主体及びその妥当性

事業主体：県

事業評価調査書（県単独補助金除く）

| |
|--|
| <input checked="" type="checkbox"/> 新規要求事業 |
| <input type="checkbox"/> 継続要求事業 |

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
 可能な限り速やかに（遅くとも令和3年度中）、岐阜情報スーパーハイウェイの通信集中による利用者への支障が出ないように、通信を分散させる対策を行う。

（目標の達成度を示す指標と実績）

| 指標名 | 事業開始前 | 指標の推移 | | 現在値 <small>（前々年度末時点）</small> | 目 標 | 達成率 |
|-----|-------|-------|------|---------------------------------|------|-----|
| | (H) | (H) | (H) | (H) | (R) | % |
| | (H) | (H) | (H) | (H) | (R) | % |

○指標を設定することができない場合の理由

県内全域をカバーする広域通信網において、刻一刻と変化する通信状況を一律の指標で判断するのは困難なため。

（前年度の取組）

・事業の活動内容（会議の開催、研修の参加人数等）

（前年度の成果）

・前年度の取組により得られた事業の成果、今後見込まれる成果

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

| | |
|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ・事業の必要性（社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か） ○：必要性が高い △：必要性が低い | |
| (評価) ○ | コロナ禍においてリモートワークや教育機関におけるタブレットを利用した学習等の推進により通信量が増大していることから、利用者が安定的に通信できる環境を維持する必要がある。 |
| <ul style="list-style-type: none"> ・事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） ○：概ね期待どおりまたはそれ以上の成果が得られている △：まだ期待どおりの成果が得られていない | |
| (評価) | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） ○：効率化は図られている △：向上の余地がある | |
| (評価) | |

(今後の課題)

| |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・事業が直面する課題や改善が必要な事項 |
|---|

(次年度の方向性)

| |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか |
|--|

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

| | |
|------------------------|-------|
| 組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課 | |
| 組み合わせる理由や期待する効果 など | 【○○課】 |